

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和8年4月16日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
総務部長 野呂田 智義

1. 工事概要

- (1) 工事名 国立研究開発法人水産研究・教育機構五島庁舎研究所改修
その他工事
- (2) 工事場所 長崎県五島市玉之浦町布浦122-7
国立研究開発法人水産研究・教育機構五島庁舎
- (3) 工事内容 入札説明書による。
- (4) 履行期限 令和9年3月31日
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和7・8年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は農林水産省大臣官房予算課競争参加資格「建設工事契約」の業種「建築一式工事」の「A」、「B」又は「C」の等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から建設工事契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、農林水産省大臣官房予算課競争参加資格に格付けされている者である場合は、農林水産省大臣官房予算課の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。
- (5) 配置予定技術者として、次に掲げる資格を有した主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。
① 監理技術者は建設業法第7条第2号に該当する者であること。なお、建設業法に示す実務条件とは「建築一式工事」とする。
② 監理技術者は、監理技術者資格者証（建築一式工事）及び監理技術者講習修了証（平成16年2月29日以前に交付された監理技術者資格者証を有する者は、監理技術者講習修了証を有する者とみなす。）を有する者又は建設業法第15条第2号で定める者であること。
- (6) 本工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面に於いて関連がある建設業者でないこと。
- (7) 以下に定める届出の義務を履行していない建設業者（当該届出の義務がない者を除く。）でないこと。
・健康保険法（大正11年法律第70号）第48条の規定による届出の義務
・厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）第27条の規定による届出の義務
・雇用保険法（昭和49年法律第116号）第7条の規定による届出の義務

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

① 直接交付

〒221-8529
神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25
GRC横浜ベイリサーチパーク 6階
国立研究開発法人水産研究・教育機構
総務部調達課
電話 045-277-0133
FAX 045-277-0218

- ② 宅配便着払いに「国立研究開発法人水産研究・教育機構に番
 任書式に「研究所改修、上り研究開の発法人事水産研究・教育機構に番
 五島希望」を記載のうえ、付立研究開の発法人事水産研究・教育機構に番
 号を「任意書式」に記載のうえ、付立研究開の発法人事水産研究・教育機構に番
 ③ 任意書式「任意書式」に記載のうえ、付立研究開の発法人事水産研究・教育機構に番
 五島希望」を記載のうえ、付立研究開の発法人事水産研究・教育機構に番
 号を「任意書式」に記載のうえ、付立研究開の発法人事水産研究・教育機構に番

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に上記3.ア及びイの記載がある場合は、令和8年5月1日
 2日までに上記3.ア及びイの記載がある場合は、令和8年5月1日
 書に記載の通り、入札説明会を開催し、入札説明会を開催し、入札説明会
 での質疑応答等を行う。質疑応答は、入札説明会を開催し、入札説明会
 対し、おおよそ、入札説明会を開催し、入札説明会を開催し、入札説明会
 同様に、おおよそ、入札説明会を開催し、入札説明会を開催し、入札説明会
 個人を侵害するおそれがある場合は、個人を侵害するおそれがある場合は、
 個人を侵害するおそれがある場合は、個人を侵害するおそれがある場合は、
 個人を侵害するおそれがある場合は、個人を侵害するおそれがある場合は、

5. 証明に関する事項

競争参加者は、上記2.(5)を証明する証明書等を提出しな
 入札説明書による。
 3. ①に同じ。
 令和8年5月12日 17時

- (1) 証明書等
- (2) 提出場所
- (3) 提出期限

6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所
 令和8年5月25日 10時00分
 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町1-1-25
 GRC横浜ベイブリッジパーク6階
 国立研究開発法人水産研究・教育機構 会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所
 令和8年5月22日 17時00分
 3. ①に同じ。

7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨
 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金
 免除。
- (3) 契約保証金
 契約金額の10分の1以上の契約保証金を納付する。ただし、履行保証契約又は工事履行保証契約の締結を行う場合はこの限りではない。
- (4) 入札の無効
 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (5) 契約書作成の要否
 要。
- (6) 落札者の決定方法
 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。
- (7) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は農林水産省大臣官房予算課の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (8) 詳細は入札説明書による。

8. 契約に係る情報の公表

(1) 公表の対象となる契約先

次の①及び②いずれにも該当する契約先

① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること

② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2

なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。

※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。

(2) 公表する情報

上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名

② 当機構との間の取引高

③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれか3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上

④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

(3) 当機構に提供していただく情報

① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

(5) その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認いただくとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。

なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

国立研究開発法人水産研究・教育機構五島庁舎研究所改修その他工事

工事概要

注) 本工事概要は、入札参加希望者に、工事の概要をお知らせするものです。

入札にあたっては、必ず工事仕様書(設計図面)をご覧になり、適正に積算して下さい。

本資料は、積算根拠とはなりません。

1. 工事件名 国立研究開発法人水産研究・教育機構五島庁舎研究所改修その他工事

2. 工事場所 長崎県五島市玉之浦町布浦 1 2 2 - 7

3. 工事概要

(1) 建築工事

研究棟	感染実験室を培養実験室に模様替え	改修 1 式
機材庫	内部床、建具、外壁塗装	改修 1 式
渡り廊下	鉄骨造 平屋建 7.67m ²	新築 1 式
親魚棟	機械室床改修	改修 1 式

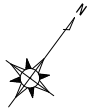
(2) 機械設備工事

研究棟	給排水設備、ガス設備、空調設備、換気設備 及び実験器具設備改修	改修 1 式
機材庫	排水処理設備撤去	撤去 1 式
親魚棟	実験飼育室用海水加温冷却機更新、殺菌装置撤去	改修 1 式

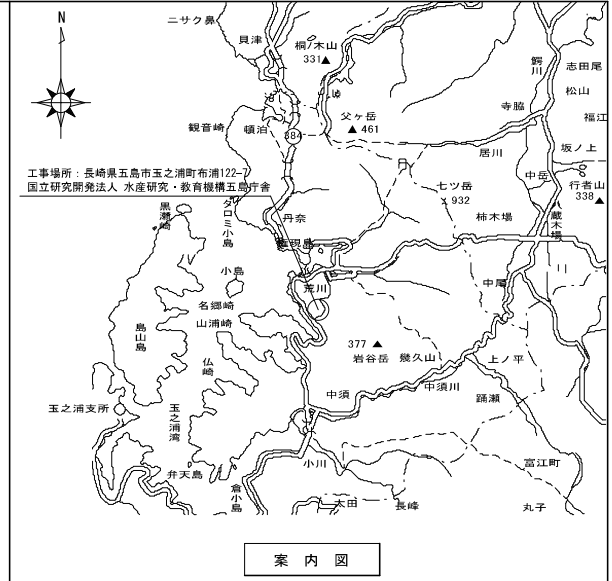
(3) 電気設備工事

動力設備	建築、機械設備改修に伴う動力盤、配線の改修	改修 1 式
電灯設備	建築、機械設備改修に伴う照明装置、コンセント設備 及び配線の改修	改修 1 式

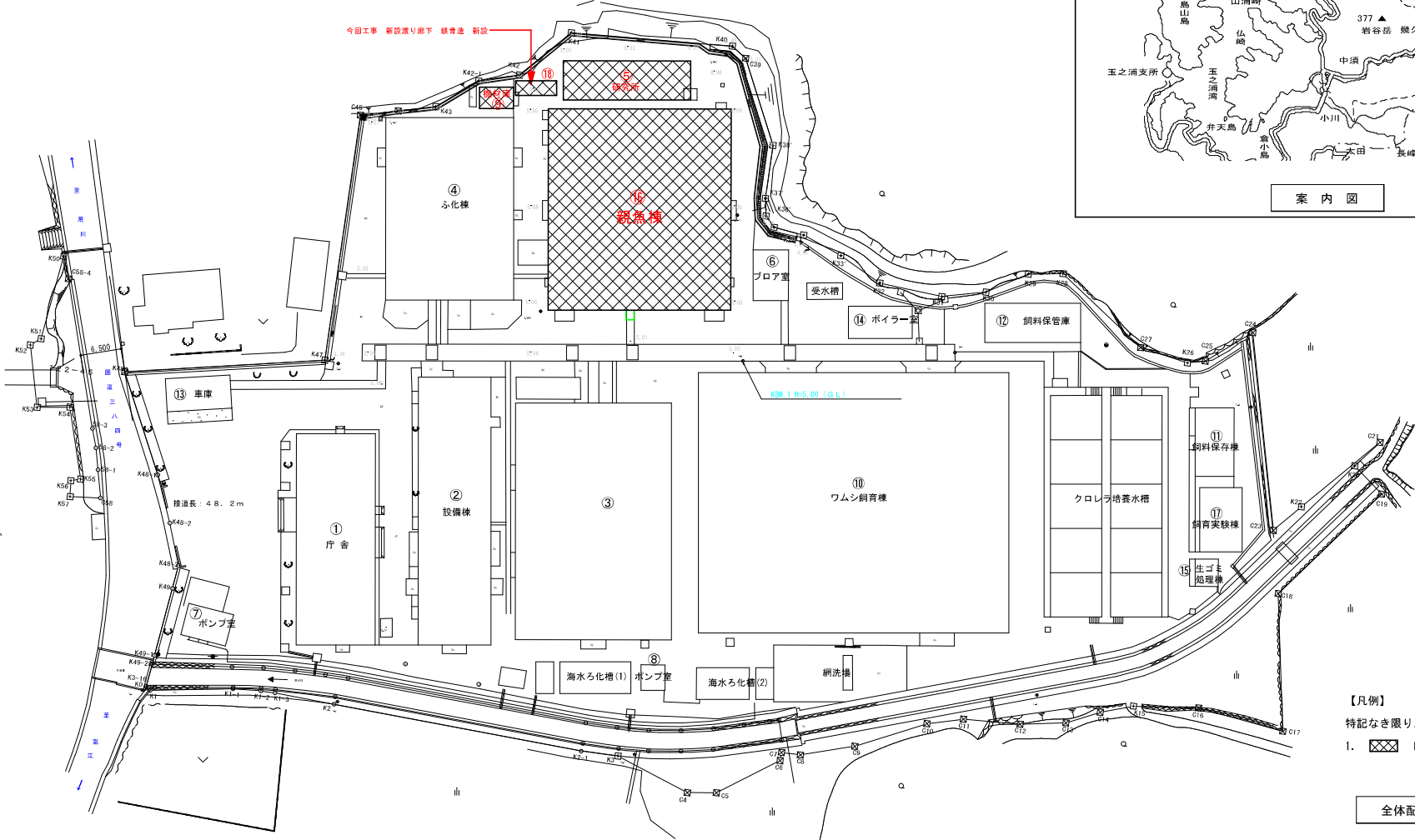
詳細については、別途配布の工事仕様書(設計図面)を参照して下さい。



既存建物概要・面積表							
建物名称	構造・階数	建築面積	延床面積	建物名称	構造・階数	建築面積	延床面積
1 庁舎	鉄筋コンクリート造 平屋建	407.00㎡	407.00㎡	11 飼料保存棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	64.00㎡	64.00㎡
2 設備棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	480.00㎡	480.00㎡	12 飼料保管庫	鉄筋コンクリート造 2階建	90.00㎡	180.00㎡
3 作業所	鉄骨造 平屋建	921.00㎡	921.00㎡	13 車庫	鉄骨造 平屋建	52.11㎡	52.11㎡
4 ふ化棟	鉄骨造 平屋建	579.00㎡	579.00㎡	14 ｶﾞｲﾄﾞ室	鉄骨造 平屋建	50.00㎡	50.00㎡
5 研究所(今回改修建物)	鉄筋コンクリート造 平屋建	120.00㎡	120.00㎡	15 ｺﾞﾐ処理棟	鉄骨造 平屋建	14.70㎡	14.70㎡
6 プローア室	鉄筋コンクリート造 平屋建	41.00㎡	41.00㎡	16 親魚棟(今回改修建物)	鉄骨造 平屋建	928.00㎡	928.00㎡
7 ポンプ室	鉄筋コンクリート造 平屋建	35.39㎡	35.39㎡	17 飼育実験棟	鉄筋コンクリート造 平屋建	65.00㎡	65.00㎡
8 ポンプ室	鉄筋コンクリート造 平屋建	13.75㎡	13.75㎡	合計		5,902.15㎡	5,992.15㎡
9 機材庫(今回改修建物)	鉄筋コンクリート造 平屋建	16.22㎡	16.22㎡				
10 ワムシ飼育棟	鉄骨造 平屋建	2,024.98㎡	2,024.98㎡	18 今回工事 渡り廊下 鉄骨造 平屋建て 新設		07.67㎡	01.77㎡



布浦（海）

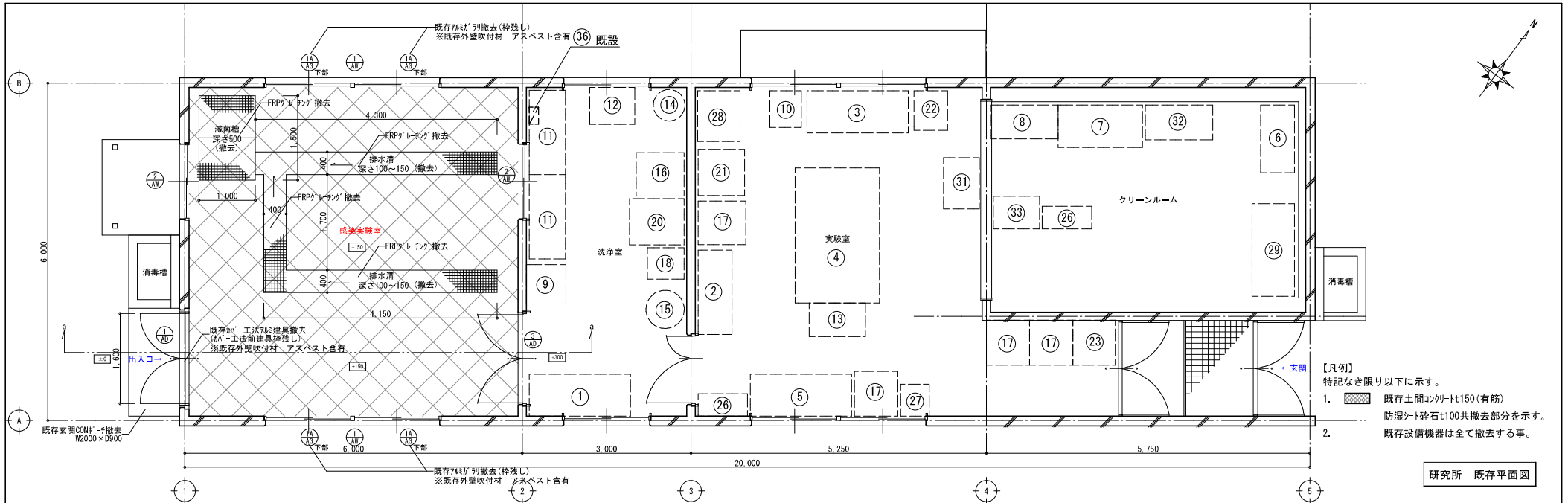


- 【凡例】
特記なき限り以下に示す。
1. 印は今回改修建物を示す。

MEMO

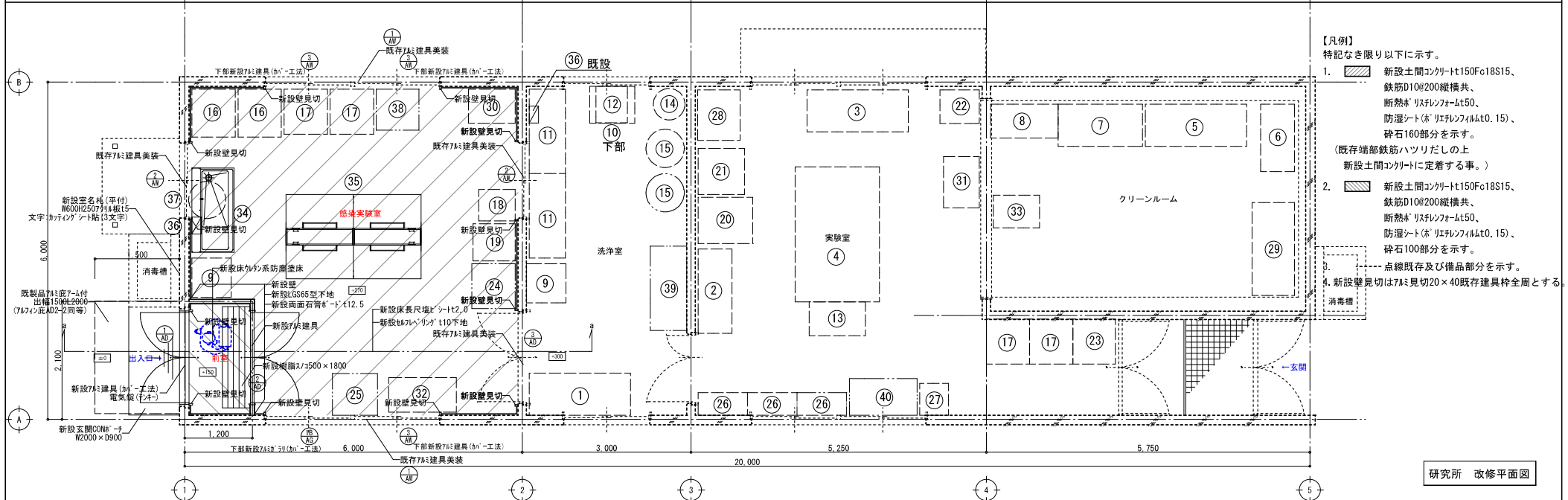
一級建築士事務所 (株) VAN 設計
一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号
一級建築士 大臣登録 第379381号
管理建築士 今村 努

承認	校閲	設計	製図	CONSTRUCTION	国立研究開発法人水産研究・教育機構 五島庁舎研究所改修その他工事	DATE	R 8. 3. 31
				DRAWING	案内図・全体配置図	NUMBER	A-07 / 07
						SCALE	S=1/500



- 【凡例】
特記なき限り以下に示す。
1. 既存土間コンクリートt150(有筋)
防湿シートt100共撤去部分を示す。
 2. 既存設備機器は全て撤去する事。

研究所 既存平面図



- 【凡例】
特記なき限り以下に示す。
1. 新設土間コンクリートt150Fc18S15、
鉄筋D100縦横共、
断熱* リフレンフォームt50、
防湿シート* リフレンフォームt0.15)、
砕石160部分を示す。
(既存端部鉄筋ハズリだしの上
新設土間コンクリートに定着する事。)
 2. 新設土間コンクリートt150Fc18S15、
鉄筋D100縦横共、
断熱* リフレンフォームt50、
防湿シート* リフレンフォームt0.15)、
砕石100部分を示す。
 3. 点線既存及び備品部分を示す。
 4. 新設壁見切は7M見切20×40既存建具枠全周とする。

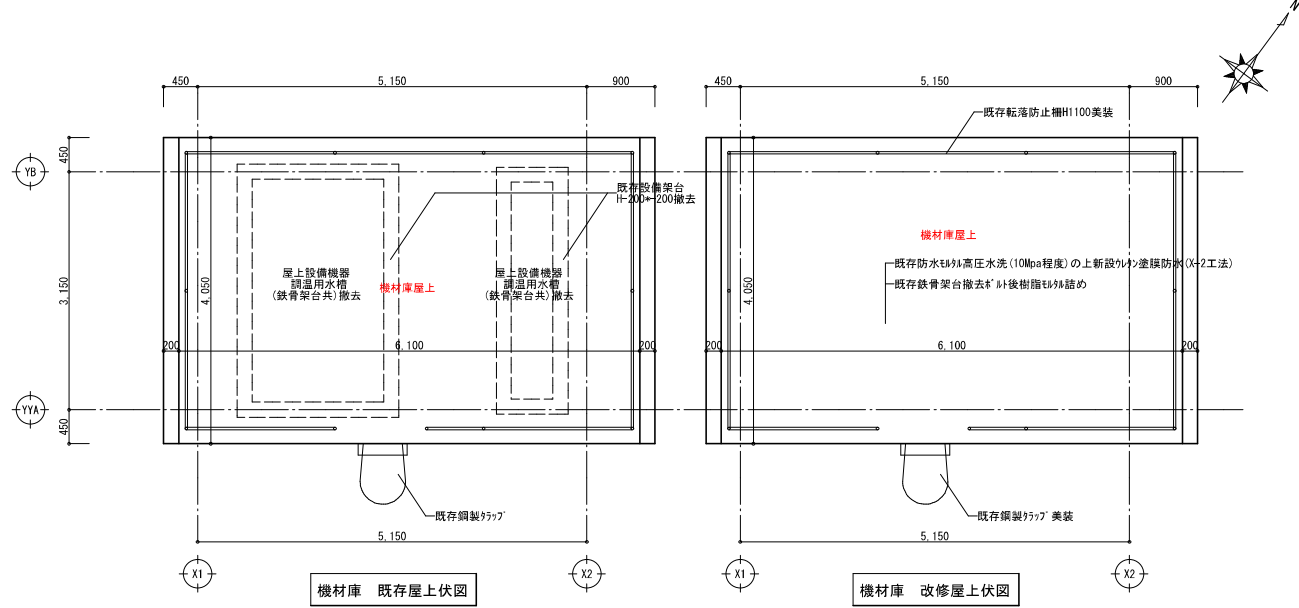
研究所 改修平面図

MEMO	一級建築士事務所 (株) VAN設計				承認	校閲	設計	製図	CONSTRUCTION	国立研究開発法人水産研究・教育機構 五島庁舎研究所改修その他工事	DATE	R 8. 3. 31
	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号 一級建築士 大臣登録 第379381号 管理建築士 今村 努								DRAWING	研究所 既存・改修平面図	NUMBER	A-08
									SCALE	S=1/50		08

外部仕上表		
a	屋根	既存防水材外高圧水洗(10Mpa程度)の上新設ウレタン塗膜防水(X-2工法)
b	外壁	既存(RC壁式構造)コンクリート打放し高圧水洗(10Mpa程度)、下地調整の上、新設防水型複層塗材E仕上 ※既存外壁吹付材 アスベスト含有
c	巾木	既存コンクリート打放し高圧水洗(10Mpa程度)、下地調整の上、新設外装薄付仕上塗材E仕上
d	目地	打総目地シーリング(※'リフレクティド'20×10)打替え、化粧目地シーリング(※'リフレクティド'20×10)打替え
備考	外壁下地調整仕様	※1 ひび割れ及び浮き補修数量は足場設置後事前調査の上現場清算とする。 事前調査は目視、打総による確認、マッピング、計測、図面記入とする) ※2 ひび割れ・浮き改修について ・ひび割れ幅1mm以上 5mm以下ウレタン工法10×15程度弾性シーリング(外壁改修面積の0.05m ² /m ² 程度) ・5mm以上浮き補修 フォーミング部分45°樹脂注入工法(注入口付) (外壁改修面積の0.05m ² /m ² 程度) ※3 下地調整仕様RC種とする。 ※4 外部周リコック改修について ・建具廻りシーリング打替(変性シリコン5×10) ・ガラス止シーリング打替(SR-1 6x6mm ヴァリア材料共) (両面)

内部仕上表		
床	既存土間コンクリートt150(有筋)撤去の上、 新設土間コンクリートt150Fc18S15、鉄筋D10@200縦横共、防湿シート(※'リフレクティド'0.15)、砕石t100 新設ウレタン系防塵塗床仕上	
壁	既存コンクリート打放し下地調整の上新設EP-6塗仕上	
天井	既存木毛セメント板(7)20打下下地調整の上EP塗仕上	
備考	床ビーム、ブラケット製がレーン共撤去 2種換気設備 既存美装	

内外部仕上表

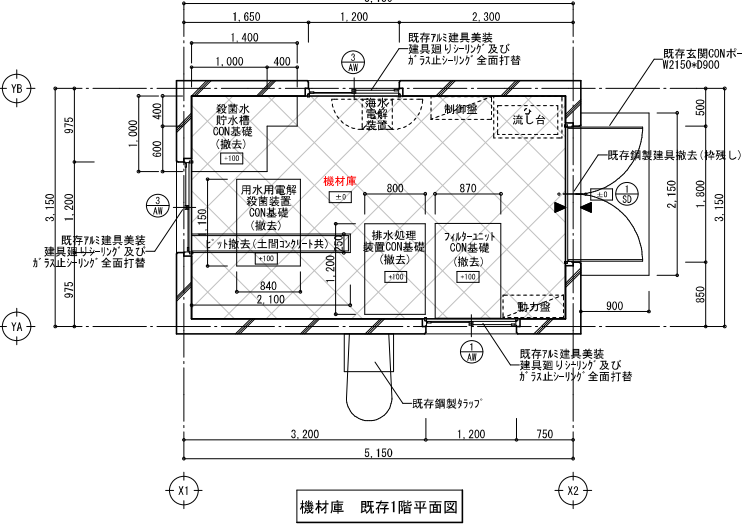


【凡例】

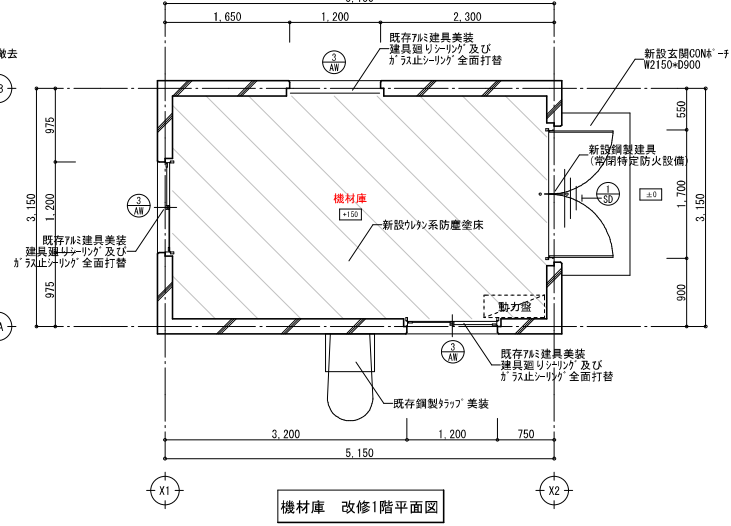
- 特記なき限り以下に示す。
1. 既存土間コンクリートt150(有筋)防湿シート、砕石t100共撤去部分を示す。
 2. 既存設備機器は全て撤去する事。
 3. 既存コンクリートカッター入部分を示す。

【凡例】

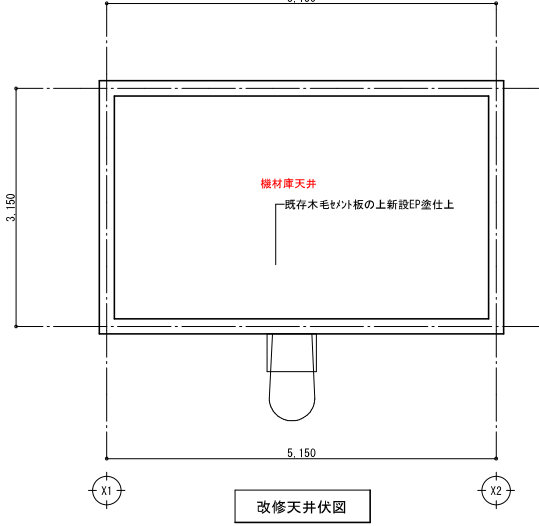
- 特記なき限り以下に示す。
1. 新設土間コンクリートt150Fc18S15、鉄筋D10@200縦横共、防湿シート(※'リフレクティド'0.15)、砕石t100 (既存端部鉄筋ハツリだしの上新設土間コンクリートに定着する事。)



機材庫 既存1階平面図



機材庫 改修1階平面図



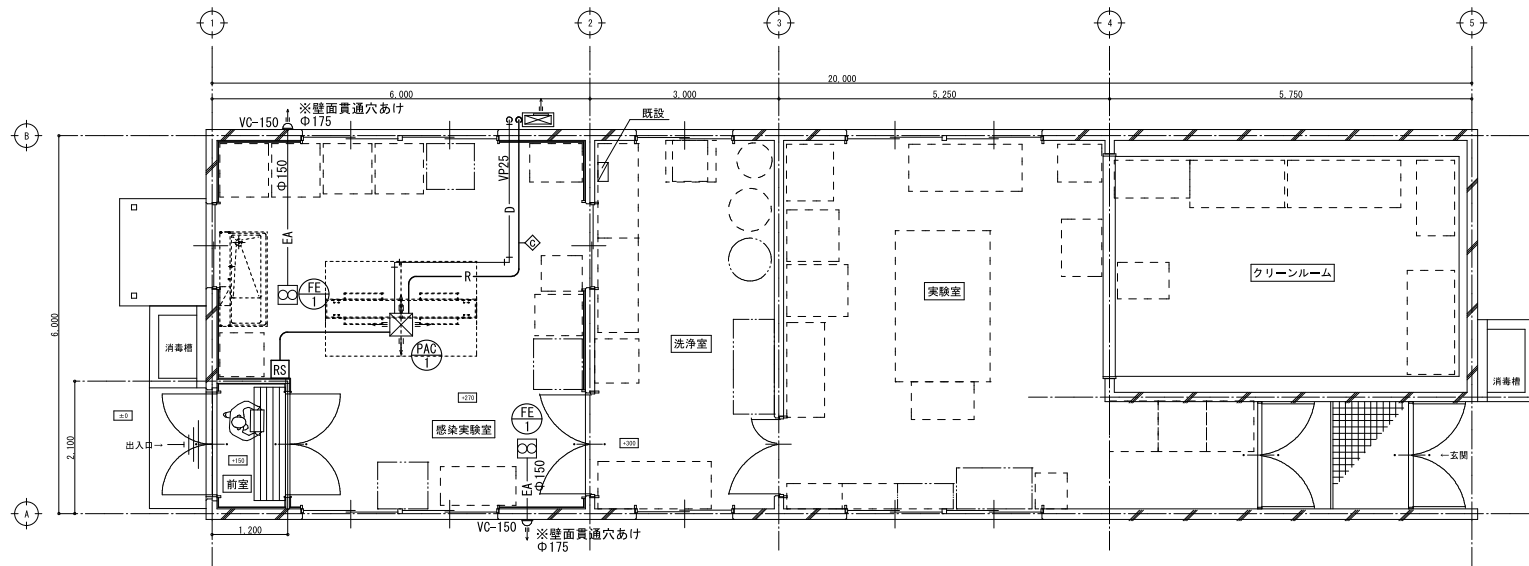
改修天井伏図

MEMO	

一級建築士事務所 (株) VAN設計

一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号
一級建築士 大臣登録 第379381号
管理建築士 今村 努

承認	校閲	設計	製図	CONSTRUCTION	国立研究開発法人水産研究・教育機構 五島庁舎研究所改修その他工事	DATE	R 8. 3. 31
				DRAWING	機材庫 内外部仕上表・既存・改修屋上伏図 既存・改修1階平面図・改修天井伏図	NUMBER	A-11 / 11
						SCALE	S=1/50



— R —	冷媒配管 室内機-屋外機連絡線共 EM-EF2.0-3C[10-E]
— D —	ドレン管 (保温有)
— —	個別ワイヤードリモコン EM-GEST.25sq-ZC
⊗ 4	室内機・天井形状4方向吹
⊗	屋外機
RS	個別ワイヤードリモコン

— 0A —	給気ダクト
— EA —	排気ダクト
⊗	天井換気扇、レンジフード
⊗	有圧換気扇
⊗	バンドキャップ

記号	液管	ガス管
◇	6.35φ	9.52φ
◇	6.35φ	12.70φ
◇	9.52φ	15.88φ

研究所 空調換気設備図 S=1/60

※既存RC壁は鉄筋探査の上、鉄筋を避けコア貫通穴あけを行う事。

【24時間換気量(シックハウス)の算定】※その他の居室=0.3回/hにて計算

階	番号	室名	室床面積 [m ²]	平均天井高 [m]	室容積 [m ³]	適用換気回数 [回/h]	必要換気量 [m ³ /h]	実質換気量 [m ³ /h]	機器番号 換気種別	判定
1	1	感染実験室	33.4	2.5	83.5	0.3	25.05	210.00	FE-1×1 3種	25.05 ≤ 210 OK

※24時間換気時は、弱運転にて稼働とする。

【居室の法定換気量の算定】 必要有効換気量V=20・A/N

階	番号	室名	室床面積 A[m ²]	一人当たりの占有面積N[m ²]	必要換気量 V[m ³ /h]	実質換気量 V[m ³ /h]	機器番号 換気種別	判定
1	1	感染実験室	33.4	3	222.67	210.00×2	FE-1×2 3種	222.67 ≤ 420 OK

※感染実験室は一般事務室相当とする。N値=3

【火器を使用する室の換気量の算定】 必要有効換気量V≥40k・Q

階	番号	室名	理論換気量 k[m ³ /(kW・h)]	器具燃料消費量 Q[kW]	必要換気量 V[m ³ /h]	実質換気量 V[m ³ /h]	機器番号 換気種別	判定
1	1	感染実験室	0.93	10.5	390.6	210.00×2	FE-1×2 3種	390.6 ≤ 420 OK

※理論換気量はLPガスの値とする。

空調機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	参考品番
PAG-1	空冷ヒートポンプエアコン (A7)	床置形 室外機:耐塩害仕様 室内機:4方向天井カセット形 冷房能力 12.5(3.2~14.0) 暖房能力 14.0(3.5~18.2)kW 定格消費電力 (冷)3.73kW (暖)3.47kW 圧縮機 2.80kW 送風機 (内)24W (外)60W×2 付属品:後吸込用フィルターボックス、清潔V型フィルター、リモコン、防振ゴム	3φ200V	1	感染実験室	PEZ-ZRMP140D5
FE-1	換気扇	排気用 天井換気扇(低騒音・フラットタイプ) 羽根:18cm 能力:210m ³ /h×80Pa×1φ100V×0.04kW バンドキャップ (SUS製)、ジョイントワイヤ、標準付属品一式	1φ100V	2	感染実験室	VD-18ZXP14-FP

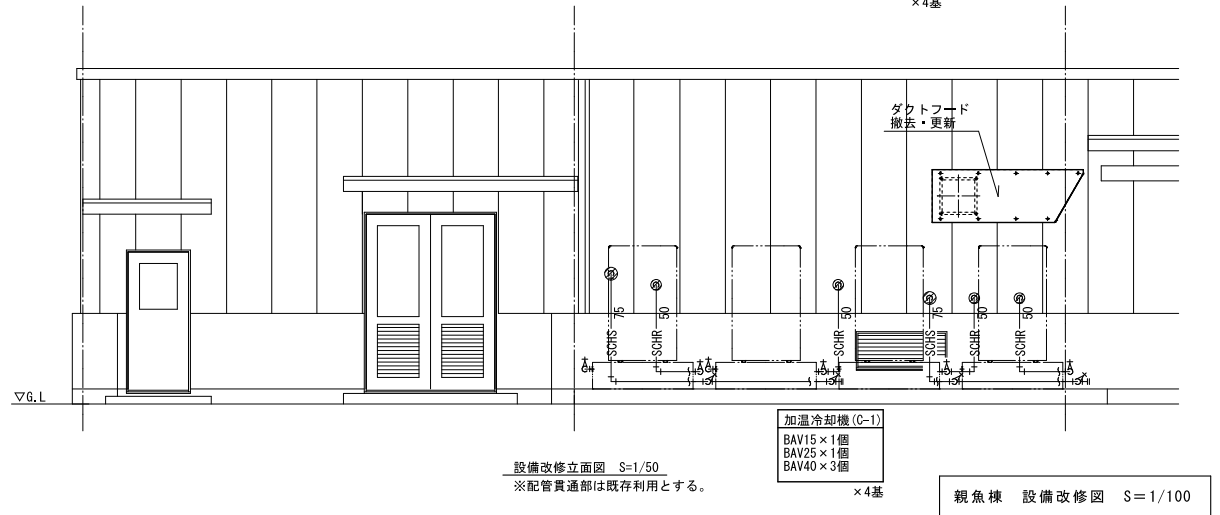
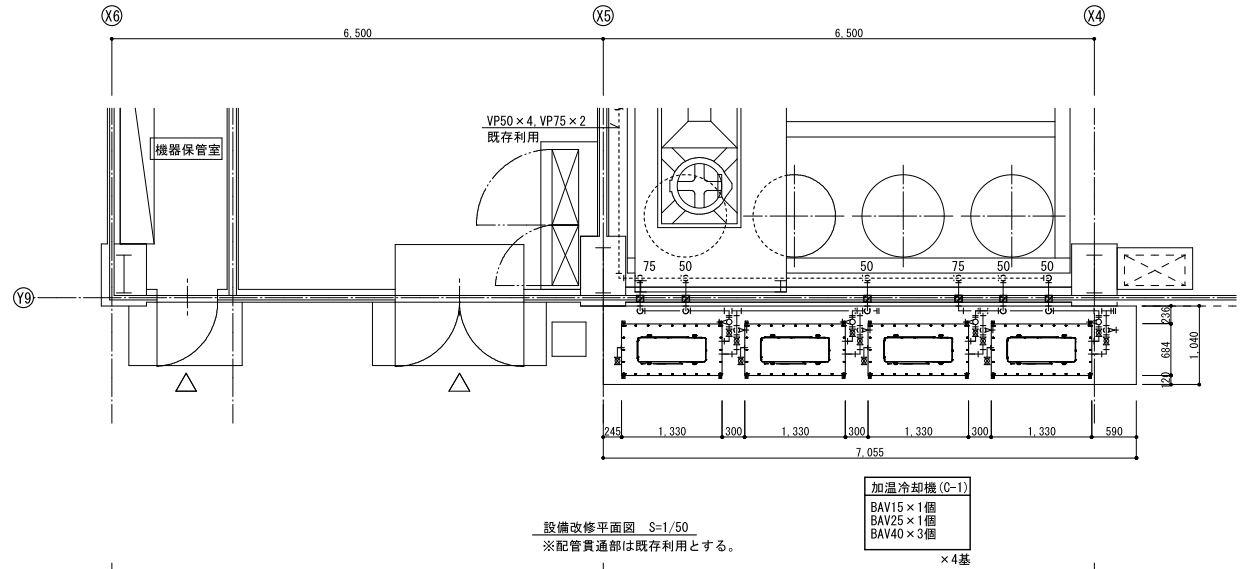
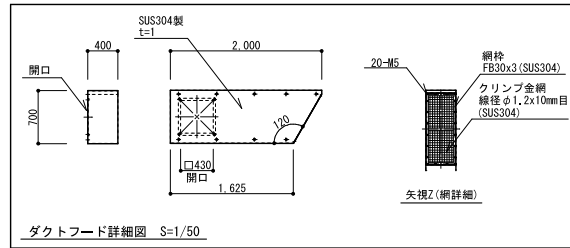
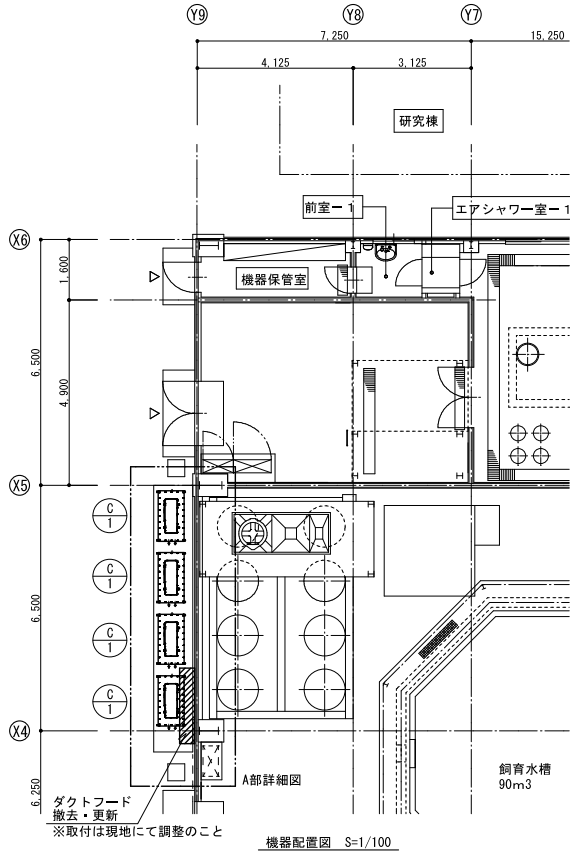
備考 外部配管保護はガルバリウム鋼板とする
内部配管保護は合成樹脂カバーとする

※参考型番:同等品以上

設備機器表

※参考型番：同等品以上

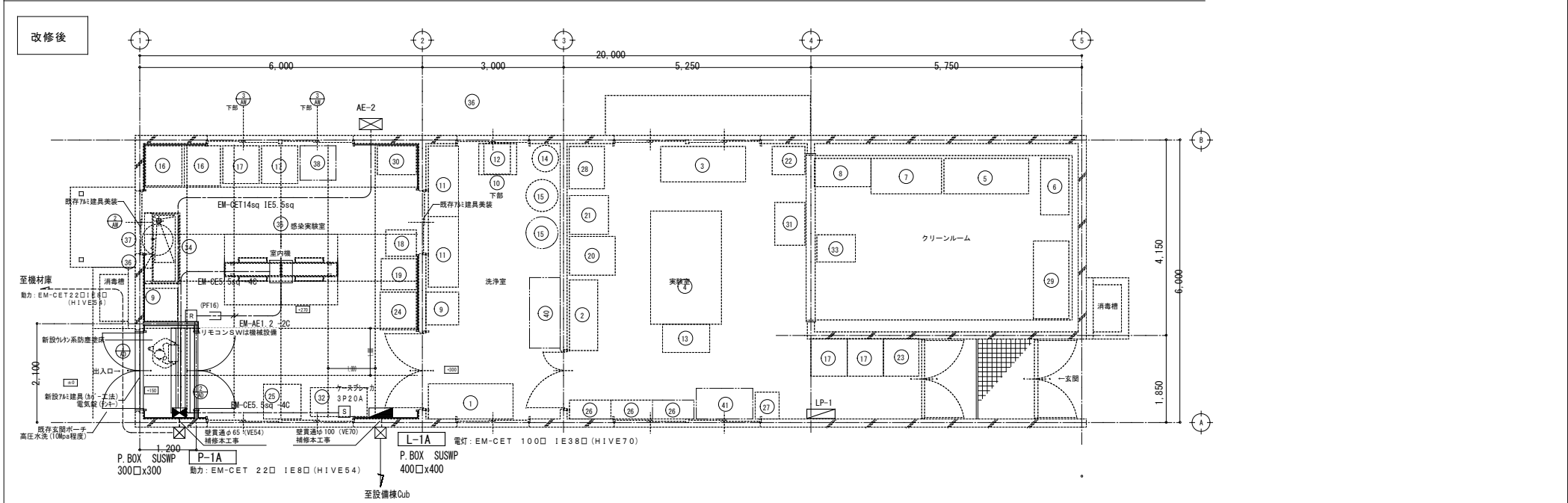
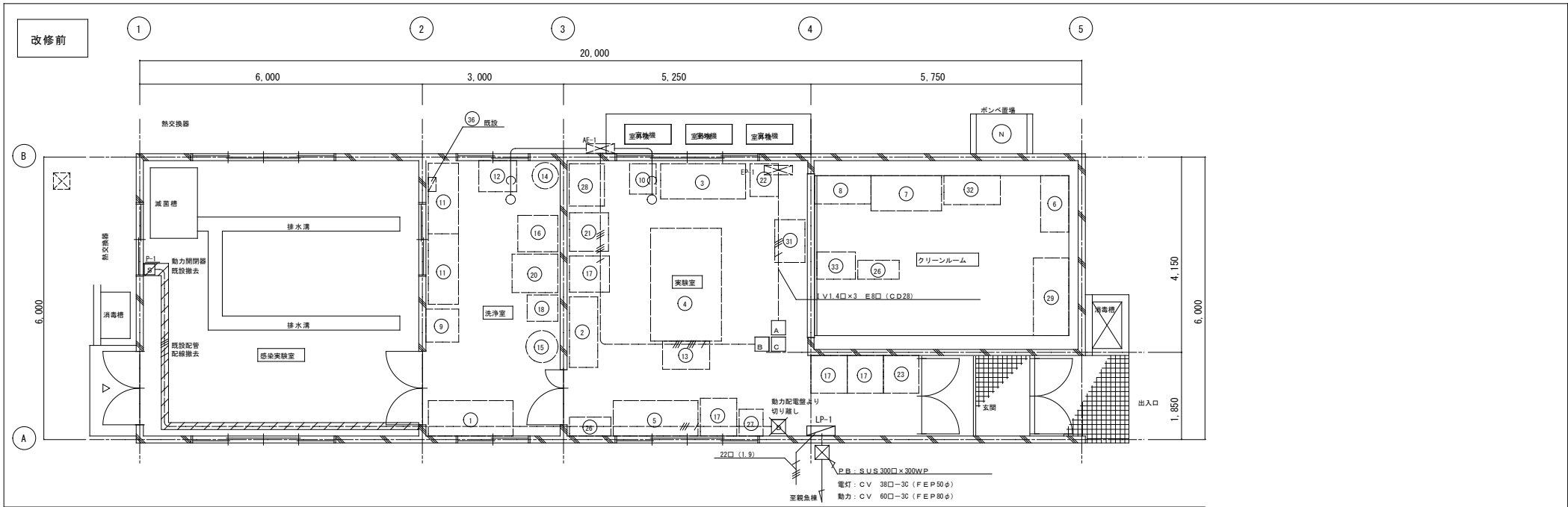
機器番号	機器名称	仕様	電源				数量	設置場所	備考
			φ	V	kW	起動			
C-1	加温冷却機	循環式冷却ユニット 熱交換部（冷媒管：溝付銅管、接液管：チタン管） 冷却能力：18.0kW 加温能力：19.8kW 圧力損失：5.4m 冷媒：R410 循環水量：120L/min 入口：40A、出口：40A 外形寸法：1,330×760×H1,890 外装：耐重塩害仕様 保護装置：高圧圧力スイッチ、温度センサー、電流センサー インバータ：DC4~20mA制御	3	200	3.75	1HV	4	屋外	参考型番：MR-650HV-TR (最大負荷入力) 10.2



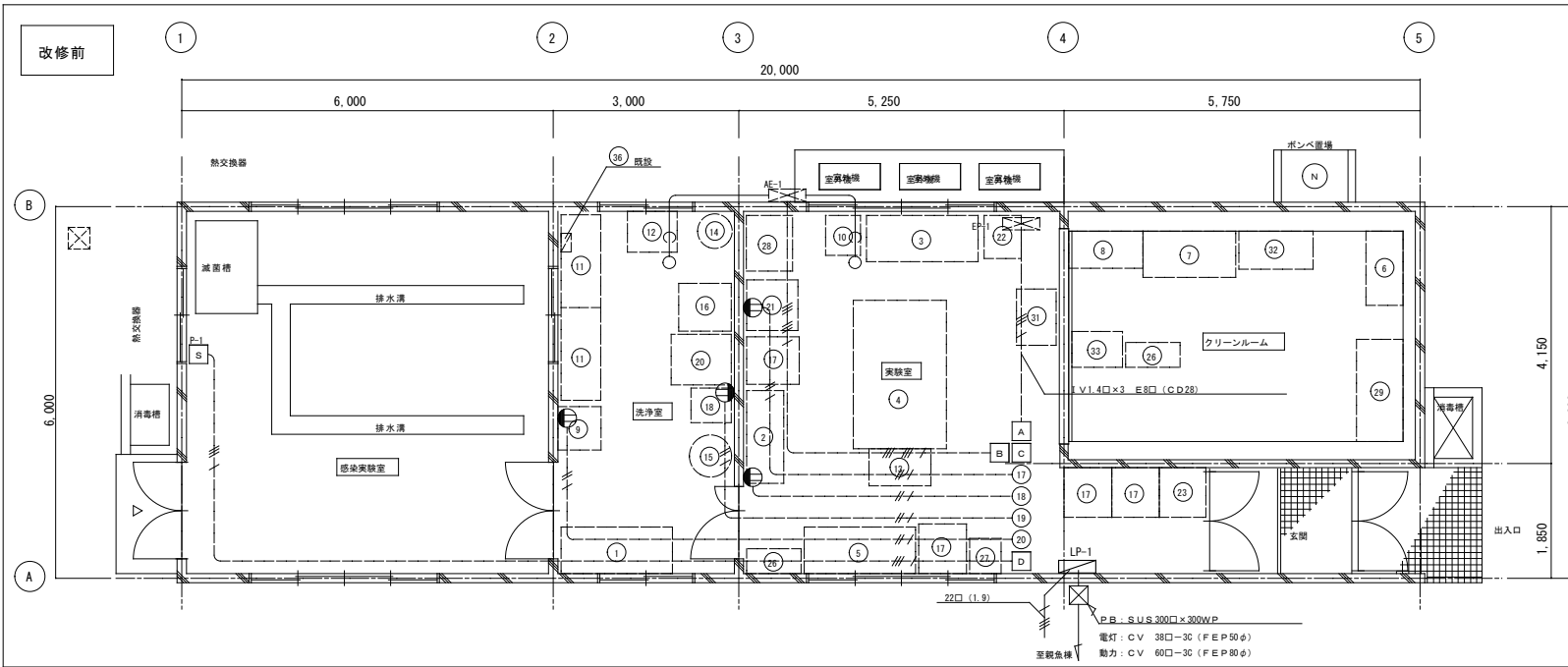
MEMO

一級建築士事務所 (株) VAN設計
 一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号
 一級建築士 大臣登録 第379381号
 管理建築士 今村 努

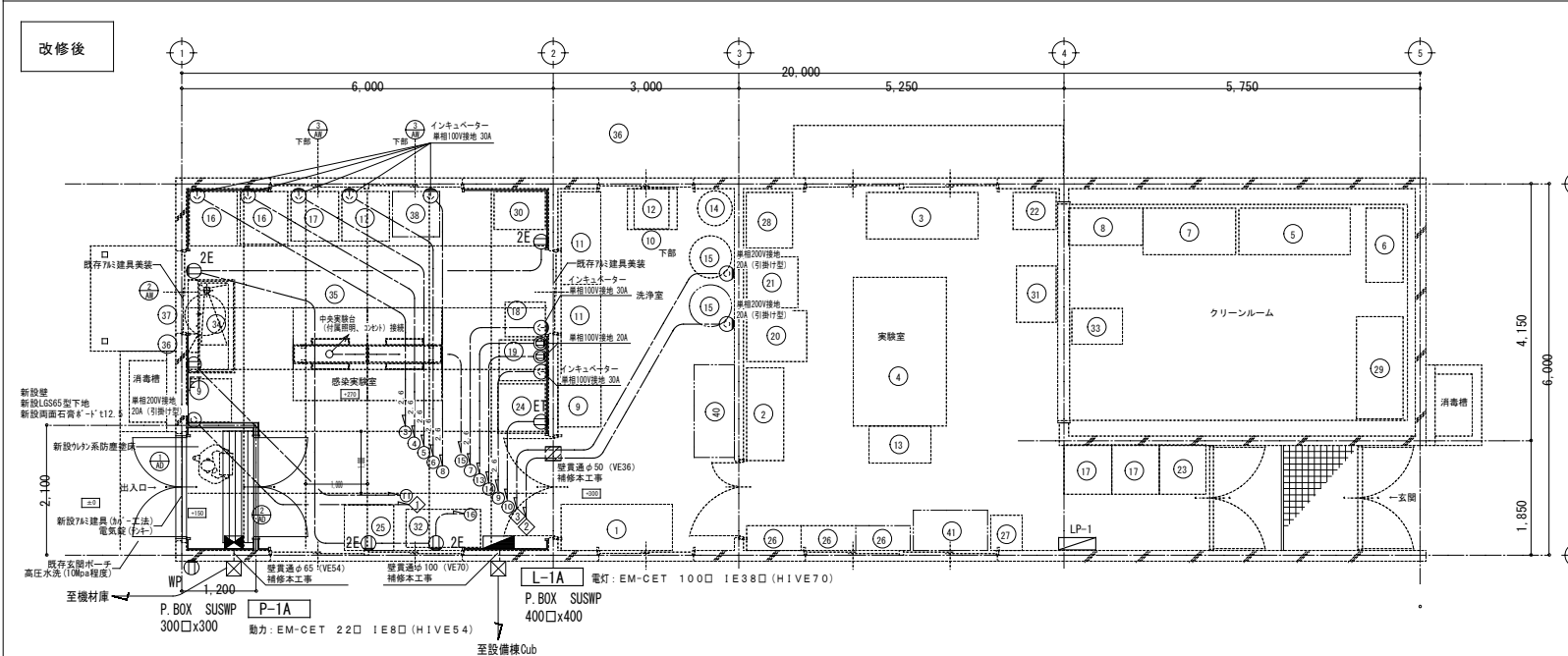
承認	検図	設計	製図	CONSTRUCTION	国立研究開発法人水産研究・教育機構 五島庁舎研究所改修その他工事	DATE	R 8. 3. 31
				A DRAWING	親魚棟 設備改修図	NUMBER	M-11
					SCALE	S=1:100	**



MEMO	一級建築士事務所	(株) VAN設計	承認	検図	設計	製図	CONSTRUCTION 国立研究開発法人水産研究・教育機構 五島庁舎研究所改修その他工事	DATE R 8. 3. 31
	一級建築士事務所 福岡県知事登録 第1-10047号 一級建築士 大臣登録 第379381号 管理建築士 今村 努						A DRAWING 研究所 動力設備配管配線図	NUMBER E-10 SCALE S=1:60



機器一覧		※参考型番：同等品以上	
番号	機器名称	台数	備考
①	実験機	1	既設
②	"	1	既設
③	"	1	既設
④	中央実験台	1	既設
⑤	実験機	1	既設
⑥	"	1	既設
⑦	"	1	既設
⑧	"	1	既設
⑨	乾燥機 (大)	2	既設
⑩	乾燥機 (小)	1	既設
⑪	洗し台	2	既設
⑫	蒸留水装置	1	既設
⑬	洗し台	1	既設
⑭	オートクレーブ (小)	1	既設利用
⑮	オートクレーブ (大)	2	1台既設、1台別途
⑯	インキュベーター	2	1台既設、1台別棟から移設
⑰	"	4	既設
⑱	"	1	既設
⑲	"	1	別棟から移設
⑳	ディープフリーザー	1	既設
㉑	冷凍庫	1	既設
㉒	冷凍庫	1	既設
㉓	冷凍庫	1	既設
㉔	"	1	別途 (次年度予算)
㉕	冷凍冷凍庫	1	別途 (次年度予算)
㉖	試験槽	3	2台既設、1台別途
㉗	遠心機	1	既設
㉘	ドラフトチャンバー	1	既設
㉙	クリーンベンチ (大)	1	既設
㉚	クリーンベンチ	1	別棟から移設
㉛	アルミラック	1	既設
㉜	"	1	既設
㉝	棚	1	既設
㉞	洗し台	1	新設 型式: DWF-1575
㉟	中央実験台	1	新設 型式: SAJ-2415EG
㊱	ガス給湯器	1	新設 型式: PH-58RE
㊲	レバー式水栓	1	新設 型式: TKS05316J
㊳	インキュベーター	1	別途 (次年度予算)
㊴	実験機	1	別途
㊵	"	1	別途
㊶	"	1	別途



本図中特記なき配線は下記による。

分電盤よりコンセント間配線 ----- EM-EEF2.0 - 3C 天井内転がし

分電盤よりコンセント間配線 ----- 2.6 ----- EM-EEF2.6 - 3C 天井内転がし

分電盤よりコンセント間配線 ----- EM-EEF2.0 - 3C 管路内配線 (HIZZ)

研究棟 機器配置図 S=1/60

